



「家族の世界地図」では、世界各国の出身者または海外にお住まいになったことがある日本の方に「家族」や「文化」についてうかがったお話を掲載していきます。

ここでは、それぞれの方に「私の家族では」という視点で語っていただいております。というのも、同じ日本の中でも地域や家族ごとに異なる文化があるように、その国について「一般的に」語るということは非常に難しいことであり、また、不二家ファミリー文化研究所ではそれぞれの家族のありのままの姿や、それぞれの方の「感じたこと」「考えていること」を映し出す鏡になりたいと考えているからです。

「家族の世界地図」は、それぞれの方の「家族」のあり方や「イベント」の過ごし方を、インタビュー形式でお伝えしていきます。

第1回目はおとなり韓国出身のキム・ミンジョンさんです。

### 年齢と、住んでいたところを教えてください。

二十七歳です。韓国のソウルに生まれ、小学生の低学年までは天安(チェナン)というソウルから南に一時間くらいの農村で育ちました。それからソウルに戻って十六歳まで生活しました。今は日本に来て、東京都の中野区で暮らしています。



### お誕生日の食事の定番といえば？

メインディッシュは、誕生日を迎えた人が一番好きな食べ物。韓国では朝食にわかめスープを食べます。妊婦が赤ん坊を産んだときも、最初に食べるのが、このわかめスープです。私の母は、私を産んで一ヶ月間、ずっとわかめスープを食べていたそうです。産後の健康のためですね。誕生日を迎えた人がわかめスープを食べるのは、つるつと産まれてきたということを思い出させるためでしょう。

ケーキの定番は、ホールのショートケーキですね。

### お誕生日のプレゼントは？

母にはお花をプレゼントすることが多いかな。小さいものでも必ずプレゼントをするのが、韓国式。

### 家族で祝うのはいつまで？

私の家族はいつまでも祝うと思います。命の続く限り、誕生日は巡って来ますから。二十歳の誕生日は嬉しくて、三十六歳の誕生日は嬉しくないわけじゃありませんし。

東洋哲学において、一番、運のいい日が誕生日なんです。これは、星占いで誕生日が近づくると運気が上がることも関係があります。なので、生きている限り、誕生日というものは祝っていくものだと思います。一人で祝うのもいいですし、ただ、うちの場合はお祝い事が好きなので、みんなで祝っているだけなのです。

### 日本では「成人式」がありますが、同じような風習はありますか？

韓国にも「成人の日」というものがあります。毎年、五月の第三週の月曜日です。しかし、韓国ではこの日は休日でもなければ、改まった行事も行われません。

日本には「一人前になる」という言葉があります。日本社会においては「一人前になる」ということがとても大切にされている気がします。伝統の社会では「一人前になる」まで何かを我慢したりしますよね。日本には七五三があったり、成人式があったりしますが、「大人」になることを大切にする風土があると思います。

韓国において二十歳になることはそれほど大事なことでなく、何らかの経験をすることによって「大人」になったと感じるのだと思います。

その「経験」は人によって異なりますが、韓国においては一般的に、大学生になったら「大人」への入り口に立ったと思っている人が多いでしょう。これは、厳しい韓国の受験戦争をくぐり抜けて来たという証明でありますから、それを乗り越えたとき、成人と認識する人が多いです。だから、韓国では「大学生になったら何でもできる」という思い込みのようなものがあります。

受験戦争をくぐりぬけて、大学生になったら「大人」。韓国も受験戦争が厳しいそうです。意外な類似点があるものですね。

次回も引き続きキム・ミンジョンさんのインタビューをお届けします。





韓国出身の27歳、キム・ミンジョンさんへのインタビュー第2弾をお伝えします。

### 韓国のお正月の過ごし方について教えてください。

韓国のお正月は旧暦の正月を指すことが多いです。もちろん、新暦の正月も祝日ではありますが、旧正月を祝う家庭がほとんどです。

### お正月に特別に食べるものはありますか？

私の家では、餃子の入ったお雑煮を食べます。韓国の北のほうでは餃子を入れるところが多いですね。日本のお雑煮の餅は餅米で作られていますが、韓国ではうるち米を使います。

牛肉を入れて出汁をとり、そこに餃子とお餅を入れて、沸騰させます。そこに最後にネギを入れ、錦糸卵と細切りの海苔をのせます。私の家では、キムチ餃子を入れていました。

### 日本のお正月と「違う」と感じたところはどこですか？

最も日本と違うところは、元旦の朝に、法事が行われることです。これを「チェサ」と言い、漢字では祭祀と書きます。亡くなった祖先の霊をまつり、新しい一年を無事に過ごせるように祈ります。

法事のためにたくさんの料理が準備されますが、法事が終わるまで手をつけてはいけません。味見すらしてはならないといいます。まずは祖先が食べてから、ということです。韓国では、法事以外の食事のときも、目上の人を手をつけてから食べるのが礼儀です。

法事のときは、民族衣装を着ます。その衣装は、法事によって異なります。

### 法事のときの食事はどんなものですか？

法事のときの食卓には、一番前の列に果物、二列目にナムルや海苔、三列目にチヂミや煮込みもの、四列目にスープ類などを並べます。

法事の食卓作りには昔から決まったルールが多く、例えば、「紅東白西」といって、赤い果物は東に、白い果物は西におきます。また、「東頭末西」というのは、魚の頭は東を向け、しっぽは西を向ける方向にのせるということです。

この食卓の前で家族揃って先祖の霊におじぎをし、一年の健康を祈ります。家庭によっては、法事で挨拶ができるのは男性だけです。私の家では、女性も法事に参加できました。

お正月の法事は、朝の8時頃から始まり、約20分かかります。

### お盆のときも同様の行事が行われるのでしょうか？

はい。正月と同様に、盆の法事も朝に行われます。このときは、華やかな民族衣装のまま法事を行います。

正月と盆のときの年に二度、韓国では多くの人々が民族衣装を着ます。多くの人々がきれいな民族衣装を着て、祖父母の家を訪れます。

ほかに、祖先の亡くなった日に行う法事では、華やかな衣装はさげます。

### 亡くなった祖先のための法事とは、どのようなものですか？

私の家では、法事を行う主(私の家では祖父)だけが、少しベージュがかかった麻で作られた民族衣装に、同じ麻の背の高い帽子をかぶって、法事を行いました。私や弟、父は普段の服のままでした。

昔は、家族全員が法事のための服を着ていたかもしれませんが、現代では、そのような衣装をもっている人は少ないと思います。私の家では、祖父だけが着ていました。

一般的に女性は法事に参加できないことも多くあります。私の家では、女性も法事に参加していいということになっていました。しかし、私の母やまかの嫁たちは、自分の祖先ではない人、すなわち夫の祖先をまつことに抵抗があったのか、あるいは「男たちの行事」なので参加するのに抵抗があったのか、参加していませんでしたし、誰かが参加を強要することはありませんでした。子供の頃の私は参加していました。

法事が終わるとみんなで食事をし、その後、お墓参りに行きます。

### キムさんのお宅の法事で、特徴的だったのはどんなところですか？

うちは、農村の村長の家でしたので、元旦には村中の人々が集まり、いっしょに御飯を食べました。この日は、貧しくて家のないいわゆるホームレスの人もうちに來ます。うちにはホームレスの人用の小さい膳や、器などもあって、彼らは村人とは別のところで静かに食事を済ませ、お米やおかずをもらって帰ったりしました。

日本は割り勘がほとんどですが、伝統的に韓国には割り勘というものがあまりありません。最近はどうでもないらしいですが……食べ物もみんなで分かち合うものなので、お金のいる人が今日はAさん、明日はBさんというようにみんなにおごる感じです。

割り勘がいいとか、割り勘じゃない方がいいといった話ではなく、正月に村中の人やホームレスの御飯まできちんと準備すること、持っている人が持っていない人に振る舞うこと、これが昔からの韓国の心だと思います。

韓国では「法事」が、個々の「家」だけでなく、伝統的な「心」を引き継ぐ行事にもなっているんですね。

今回は、キム・ミンジョンさんへのインタビューの最終回になります。





## Vol.3 クリスマスは家族と一緒に過ごす日です。

韓国出身の27歳、キム・ミンジョンさんへのインタビュー最終回になります。  
今回は、韓国でのクリスマスの祝い方を教えていただきました。

### クリスマスのケーキの定番はなんですか？

クリスマスの飾り付けがついているケーキ。

### プレゼントの定番はありますか？

子どもへのプレゼントの定番は玩具ですね。親への定番は、ネクタイやマフラーといった冬物衣料など。ハンカチなども多いと思います。気軽なものですね。

### その他、クリスマスに関するエピソードなどがあればお聞かせください。

韓国ではクリスマスが祝日になっています。(※注1)

日本ではクリスマスに恋人がホテルを予約すると聞いて驚きました。(※注2)韓国にはキリスト教徒が多いため、クリスマス教会で過ごす人も多いのです。教会ではクリスマスパーティも開かれます。ほとんどは小中高生が集まり、学芸会のようなことをします。小学生には教会からクリスマスプレゼントとしてお菓子が配られたりします。昔は、このお菓子目当てにクリスマスと復活祭だけ教会に通った子どももいたそうです。

ともかく、私にとってのクリスマスは教会に行く日であり、恋人よりは家族といっしょに過ごす日です。

### 韓国におけるキリスト教徒の割合はどのくらいですか？

キリスト教徒は韓国人の約3割と言われていて、儒教・仏教に並んで信者が多いそうです。

韓国は、カトリック伝来の歴史に特徴があります。外国の宣教師が布教にきたのではなく、韓国人が外国でカトリックの教えを受けて持ち帰ったのだそうです。そういう形でカトリックを「持ち帰った」国は韓国だけです。

18世紀後半に、「愛することを一番とする宗教がある」と聞いた韓国人が中国で勉強し、神父となって帰ってきて、教会をまじめます。この時代の韓国は厳しい身分制度があったため、「人間は平等である」などのキリスト教の思想が人々に支持されました。が、その一方で、古来の儒教や仏教の考え方と合わなかったため、体制側から迫害を受けました。

第二次世界大戦のあとプロテスタントが啓蒙運動を行ったり、朝鮮戦争のあとカトリックやプロテスタントが多量の物資支援をしたりしたことが韓国の人々に浸透し、のちに、軍事政権下の韓国においても、キリスト教が他の宗教と並んで大きな安らぎとなり、大きな力として役割を果たしたのだと思います。

### 長い間、ありがとうございました。

(※注1) 釈迦の生まれたとされる4月8日も祝日です。ただし、4月8日は陰暦なので、陽暦に換算すると毎年、日にちが異なります。だいたい陽暦5月頭が釈迦の誕生日であり、この日は仏教徒を中心に提灯をつかったお祭りが行われます。

(※注2) ファッションや音楽など日本の影響を強く受けているだけに、最近はクリスマスもイベント化し、過ごし方も日本とほとんど変わらなくなってきたようです。とはいえ、11月下旬頃からクリスマスにかけて、地下鉄の構内や路上など、街のあちこちで鐘を鳴らして募金を集めるキリスト教徒が登場します。韓国人たちは、この鐘の音を聞くと「ああ、クリスマスが近づいてきたなあ」という気分になるそうです。クリスマスの風物詩というわけですね。

儒教、仏教、キリスト教。それぞれの信者が混在しているからこそ、多様化している韓国のクリスマス。日本の影響を強く受けているとはいいながら、宗教的な意味合いがより強いようですね。

次回からはネパール・カトマンズ近郊のパタンに居住していた門脇さんにお話をうかがいます。